

製品名: SAFB1 (2E8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03459**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF, ChIP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, ChIP 1:20
分子量	Calculated MW: 103 kDa; Observed MW: 130 kDa

抗原情報

遺伝子名	SAFB
別名	SAFB; HAP; HET; SAFB1; Scaffold attachment factor B1; SAF-B; SAF-B1; HSP27 estrogen response element-TATA box-binding protein; HSP27 ERE-TATA-binding protein
遺伝子 ID	6294
SwissProt ID	Q15424
免疫原	ヒト SAFB の合成ペプチド

背景

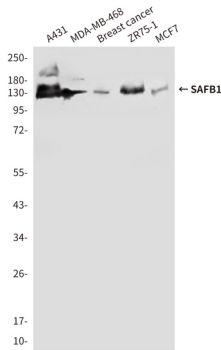
この遺伝子は、足場またはマトリックス付着領域 DNA 要素 (S/MAR DNA) に高い特異性を持つ DNA 結合タンパク質をコードして

います。このタンパク質は、クロマチンループの基部を核マトリックスに付着させる役割を担っていると考えられていますが、クロマチンの構成要素なのか、核マトリックスタンパク質なのかについては、相反する証拠があります。足場付着因子は、S/MARに特異的に結合する核マトリックスタンパク質 (NMP) の特定のサブセットです。コードされているタンパク質は、活発に転写されている遺伝子の近傍で「トランスクリプトソーム複合体」を組み立てるための分子基盤として機能すると考えられています。この遺伝子は、熱ショックタンパク質 27 の転写制御に関与し、エストロゲン受容体コリプレッサーとして作用し、乳がん発生の候補物質となっています。この遺伝子は、同じ機能を持つ類似遺伝子と直接結合しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。

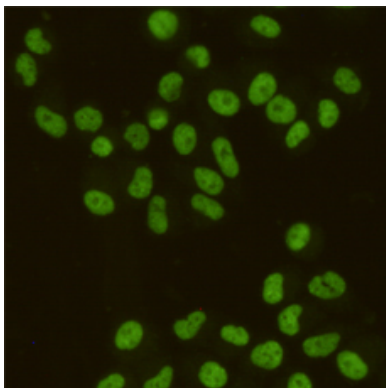
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



SAFB1 抗体を使用した、A431、MDA-MB-468、乳がん、ZR751、および MCF-7 溶解物中の SAFB1 のウエスタン ブロット分析。



SAFB1 抗体を用いた HeLa 細胞の SAFB1 (2E8) の免疫細胞化学分析。